

## 海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：国際教養学部

学年：3年

留学先大学：IULM University

現在の学期：Second semester

時間割：

| 曜日  | 履修科目名・時間等  |
|-----|--|
| 月   |  |
| 火   | Heritage, Events and Cultural Tourism 9:00am-12:00pm<br>Geography for Sustainable Tourism Development 13:30pm-16:30pm<br>→4月後半から授業時間が変更になる予定 |
| 水   |  |
| 木   |  |
| 金   | Event Management and Sponsorship 10:30am-1:30pm  |
| 土・日 |  |

### 履修科目や近況について

科目や近況についてだけでなく私が留学前に知りたかったことも書いているので長くなってしまいましたが、誰かの役に立っていると嬉しいです。

IULM 大学の留学生の多くはヨーロッパ圏からです。アジアから来ている留学生もいますが、大学で私以外の日本人は見たことがありません。ですが、様々な地域からの留学生と出会えとても楽しく大学生活を送っています。イタリアの大学の講義は1クラスがなんと3時間ととても長いです。ほとんどの講義で途中10分程度の休憩をはさむので、1回のクラスが千葉大学での2コマ分というイメージです。

#### 【履修科目について】

履修科目について、IULM 大学では留学生は基本的に全ての学年、学部の講義を上限

30 単位まで履修することができます。しかし、一部の科目は Study Abroad Office の許可が必要です。私は観光や体験について勉強したいと考え、公開されているコースカタログの中から授業内容を見て自分が履修したいものを選びました。現在履修している科目は 3 つです。元々 4 科目履修しようと思っていたのですが、復習や試験の負担を考え減らしました。

一つ目は Geography for Sustainable Tourism Development です。この科目では、ツーリズムの構造や影響など観光の基礎について勉強しています。この科目は大学院の科目です。学部の留学生も大学院 1 年生向けの英語で開講している科目であれば、自由に履修できます。この科目は担当教員が 3 人おり最終試験も 3 つ受けなければなりません。現在は授業が週に 1 回ですが、授業担当の教員が変わるタイミングでイレギュラーなスケジュールになる予定です。

二つ目は Heritage, Events and Cultural Tourism です。科目名にもあるように Cultural Tourism について勉強しています。グループワークによるプレゼンテーションによって成績が決まります。この科目では講義の後半に Exercise の時間があり、ディベートやディスカッションなどを行っています。毎回違うメンバーと行っているため、現地の学生とも留学生同士も話しやすい環境になっています。

三つ目は、Event Management and Sponsorship です。イベントがどのように作られ運営されているのかを勉強しています。この科目は、グループワークのプレゼンテーションと筆記試験が最終試験です。グループワークに関してはメンバーを自分たちで探す必要があり、なかなかメンバーが見つからず苦労しました。

全ての科目に共通して、最終試験は留学生への措置として筆記試験を口頭試験へ変更することが可能になっています。また、予習はあまりないのですが、英語での授業に慣れておらず特にイタリアアクセントが強い英語を話す先生もいるので、授業内で全ての内容を理解することが難しく復習に時間を割いています。事前に担当教員に許可を取り講義中の音声を録音しているため、その録音と授業スライド、自分が授業中に書いたメモを使って復習しています。

さらにこれらの科目が始まる前にイタリア語の集中講義も履修していました。正式な授業期間の前に 2 週間程度毎日対面での講義を受けました。初心者向けの科目で基本的な文法や語彙、日常生活で役立つフレーズなどを学びました。生活に必要なイタリア語をこの科目で学ぶことができたため、とても有意義だったと思っています。また、友人関係を広げるという点でも参加してよかったと思います。

### 【生活について】

#### ○アパートについて

IULM 大学の寮は全ての留学生が住めるほどの部屋が無く、希望者が多かった場合抽選が行われます。私は元々大学の寮を希望していたのですが落選してしまったため、大学から紹介されたサイトでアパートを探しました。私と同じ時期に留学を開始した友人たちの話を聞くと、寮とアパートは半々くらいかなと思います。私が住んでいるアパー

トは大学から徒歩 15 分程度で、個別の部屋がありそれ以外のキッチンやトイレなどはフラットメイトと共用です。フラットメイトは学生が 1 人と社会人が 1 人おり、日々のタイムスケジュールがあまり被らないため、挨拶と料理などをしている時に会ったら少し会話をする程度です。

学生ビザ取得のため日本にいる間にアパートを決定する必要があり、現地で内見もできなかつたため不安だったのですが、今は快適に過ごせています。しかし、留学を経験した友人からは様々なトラブルを耳にするため、何の問題もなく過ごせている私は運がよかったのだと思っています。

#### ○日常生活について

何かを購入する際は、日本の口座からオンラインで振り込めるデビットカードを使っています。今までで現金を使ったのは、滞在許可証申請のために必要な収入印紙を購入したときのみです。カードが使えないなどの問題が発生したときのため現金はある程度持っているのですが、このまま何も問題が起これなければ現金はそのまま日本に持って帰ることになりそうです。ミラノ市内の公共交通機関もカードのタッチ決済で乗車できます。毎日公共交通機関を使う友人は定期券を買っていますが、私は中心地に行く時にしか公共交通機関を使わないためカードのタッチ決済で毎回支払っています。

また、食事は基本的に自炊です。日本にいる時も一人暮らしをしていたため、そんなに苦労はしていません。毎回外食をすると食費がとても高くなってしましますが、スーパーで食材を買い自炊するなら食費は日本の 1.5 倍程度だと思います。日本の食材や調味料も近くのアジアンスーパーで買うことができます。日本とイタリアのスーパーは売っているものが異なり、特に野菜などは日本で見かけないものが多いです。日本では買わないものを購入し料理に挑戦するのも最近の楽しみです。

最後に私が最近困っていることは水です。私は元々肌が弱く日本にいる時もよく皮膚が荒れていたのですが、イタリアに来てから硬水でシャワーをする必要があり悪化してしまっています。日本から持ってきた塗り薬で対処しているのですが、なかなか完治せず困っています。

#### ○授業外での過ごし方について

授業外では、大学の図書館で授業の復習やイタリア語の勉強をするか、友人と食事やカフェに行くことが多いです。大学には自習スペースが多くあり勉強するにはとても良い環境が整っています。私がかみではなかなか集中できないこともあり、基本的には大学に行って勉強しています。また、同じ授業を履修している友人と食事やカフェに行って、イタリアの食文化を楽しんでいます。ミラノの観光客が多い中心地のレストランは値段がとても高いのですが、大学周辺のレストランはそこまで高くないです。友人と食事に行く際は友人の友人を紹介されることも多く、友人関係を少しずつですが広げていっています。

休日には一人で、もしくは友人とミラノ内を観光をすることも多いです。イタリアの

観光について学びたいと思っているため、積極的に外に出て観光するようにしています。最近ではレオナルドダヴィンチの「最後の晚餐」を見に行ったり、ナヴィリの大きなアンティーク・マーケットに行きました。旅行については、時差ボケ、イタリア語の集中講義、オリンピックによる混雑など様々な要因が重なり、最初の1ヶ月はなかなか旅行する時間を作れませんでした。そのため、これからは時間と資金が許す限り旅行や観光をしたいと思っています。

サークルなどについては日本ほど豊富ではないですが、IULM 大学には ESN という留学生向けのイベントを主催している学生団体があり、その団体が様々なイベントを開催しています。最初に会費を払い団体に登録することで参加できるようになります。私は自由に一人で観光するのが好きなこともあり参加はしてないのですが、最初の友人作りのために参加している友人もいます。

日本では大学の課題、バイト、就活、サークルの運営など様々なことに追われていて、日々があっという間に過ぎていってしまいました。留学してから日本での日常から離れ強制的に時間的余裕ができたため、自分の将来ややりたいことについて考える時間を持つことができます。

#### 【日常の写真】



授業風景



自習室



アジアスーパー

#### 【友人といったカフェやレストラン】



カフェ



大学近くのピザ屋



学食のパスタ

【旅行や観光】



最後の晩餐



ナヴィリ・アンティーク・マーケット



ミラノ大聖堂



ミラノ市内



スイス日帰り旅行